

3 外部評価について

(1) 評価方法

ア これまでの経過

鎌倉市の外部評価は、平成 16 年度の事務事業外部評価の導入以降、継続して取り組んでいます。施策レベルの外部評価としては、平成 17 年度の施策評価（試行）から、平成 18 年度の施策進行評価（試行）を経て、平成 19 年度から施策進行外部評価を本格導入し、平成 20 年度からは政策・施策体系の評価可能な 27 分野の外部評価を実施してきました。政策・施策体系の評価により全分野に対する外部評価が可能となったことから、事務事業外部評価については、平成 22 年度に取組を中止しました。

平成 26 年度から第 3 期基本計画の計画期間がスタートし、第 3 期基本計画の施策体系に合わせ、平成 27 年度から新たな内部評価が行われています。一方で、外部評価については、これまでと同様に、全分野の外部評価を行う視点から、内部評価における全ての施策の方針及び計画の推進に向けた考え方を対象として、評価を実施することとしており、引き続き、令和元年度も同様に実施しました。

イ 鎌倉市民評価委員会

鎌倉市民評価委員会は、行政評価アドバイザーが兼ねる専門評価委員と、市政への関心と行政評価の取組へ理解のある市民評価委員からなる外部委員会です。現在評価委員として活動中の委員は以下の通りです。（【】内は本委員会での役職。）

(ア) 専門評価委員（行政評価アドバイザーが兼務。（）内は、主な専門分野等。）

- ・川口 和英【会長】（都市計画・地域計画に関する調査研究等）
- ・渡邊 公子（食育・NPO活動コーディネーター等）
- ・細川 甚孝（自治体政策研究等）

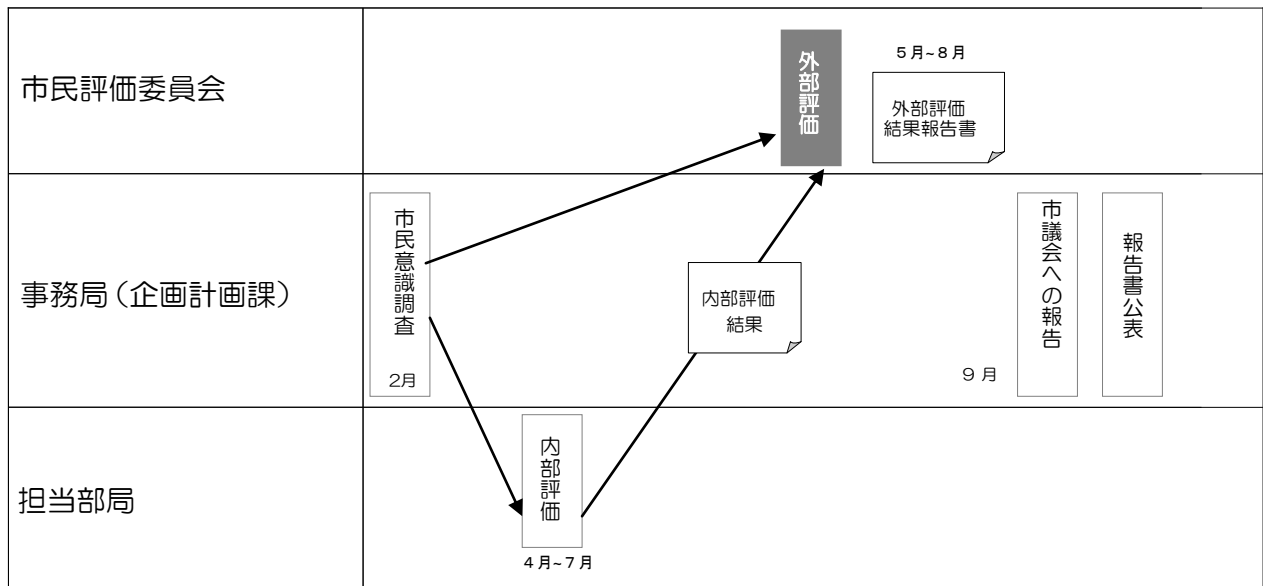
(イ) 市民評価委員

- ・柳生 修二【副会長】
- ・今村 祐子
- ・大隅 利啓
- ・奥野 知佳
- ・平本 恭子

(ウ) 令和元年度行政外部評価に係る鎌倉市民評価委員会日程・内容

| | 日 程 | 内 容 |
|---|---------------|---|
| 1 | 5月21日(201会議室) | <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱式 ・会長及び副会長の選任について ・令和元年度市民評価委員会の進め方について ・委員会のスケジュールについて |
| 2 | 6月11日(201会議室) | 【全体評価の意見交換】 歴史環境、生涯学習、勤労者福祉 |
| 3 | 6月21日(201会議室) | 【全体評価の意見交換】 みどり、都市景観、住宅・住環境、下水道・河川、道路整備 |
| 4 | 6月25日(201会議室) | 【全体評価の意見交換】 生活環境、健康福祉、スポーツ・レクリエーション |
| 5 | 7月2日(201会議室) | 【全体評価の意見交換】 防災・安全、総合交通、市街地整備 |
| 6 | 7月9日(201会議室) | 【全体評価の意見交換】 平和、人権、多文化共生、文化、子育て、学校教育、青少年育成 |
| 7 | 7月16日(201会議室) | 【全体評価の意見交換】 産業振興、観光、消費者対策 【計画の推進に向けた考え方】 市民自治、行財政運営、歴史的遺産と共生するまちづくり |
| 8 | 7月31日(201会議室) | 【全体評価の意見交換】 総評、全体取りまとめの意見交換 【鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略】 関連事業の取組に関する意見交換 |
| 9 | 8月8日(201会議室) | 【令和元年度鎌倉市行政外部評価まとめ】 |

(I) 行政外部評価の流れ



ウ 令和元年度の取組

鎌倉市の外部評価は、既述の日程で開催された鎌倉市民評価委員会において専門評価委員と市民評価委員が事務局（共創計画部企画計画課）を交えて意見交換、議論を経て、第3期基本計画の施策の方針等ごとに外部の視点で評価しました。

令和元年度の外部評価は、第3期基本計画後期実施計画の2年目である平成30年度に実施した取組に対する評価として、全ての施策の方針等を対象に外部評価を実施しました。

(ア) 全体評価

第3期基本計画の施策体系の6つの将来目標に位置付けられる51の施策の方針及び3つの計画の推進に向けた考え方について、内部評価結果と関連資料を基に、外部の視点から施策の進捗を評価するものです。

令和元年度の全体評価では、専門評価委員と市民評価委員がそれぞれ市で作成した行政評価シートを参考に、令和元年度外部評価シートを作成し、市民評価委員会の議論を経て、各施策の方針等の評価を【取組の評価】、【効果の評価】、【評価できるところ】、【課題】、【提言】及び【質問】の6つの視点からとりまとめました。

a 【取組の評価】

「▲ 以前よりよくなった」、「▼ 以前の方がよかった」、「→ 以前と変わらない」の3つから選択

b 【効果の評価】

「○ まちの姿の実現に向け十分である」、「△ まちの姿の実現には不十分である」、「- どちらともいえない」の3つから選択

- c 【評価できるところ】
自由記述
- d 【課題】
自由記述
- e 【提言】
自由記述
- f 【質問】
自由記述

(1) 鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業に対する評価

平成28年3月に策定した鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関連する事業について、特に地方版総合戦略に位置付けられた先駆性のある取組の円滑な実施を支援することを目的とした「地方創生推進交付金」の交付事業の「効果」の有無等を外部の視点から評価しました。

(2) 評価結果

鎌倉市民評価委員会による評価結果は次ページ以降で示しています、

(3) 今後の鎌倉市民評価委員会について

令和元年度において、内部評価と外部評価をまとめた本報告書を9月議会にて報告後、鎌倉市の強み弱みを再認識し、より強化すべきポイントや改善すべき課題を抽出するとともに、今後の事業の方向性や成果を重視した行政運営を推進するための方策の検討材料としてきます。